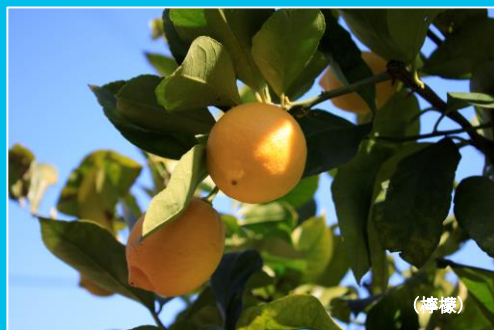


大崎上島町 教育の島交流基本構想 実施計画

概要版



～「ひかりあふれる「学びのある島」へ」～

大崎上島町

1. 実施計画の目的

(本編：P.1より)

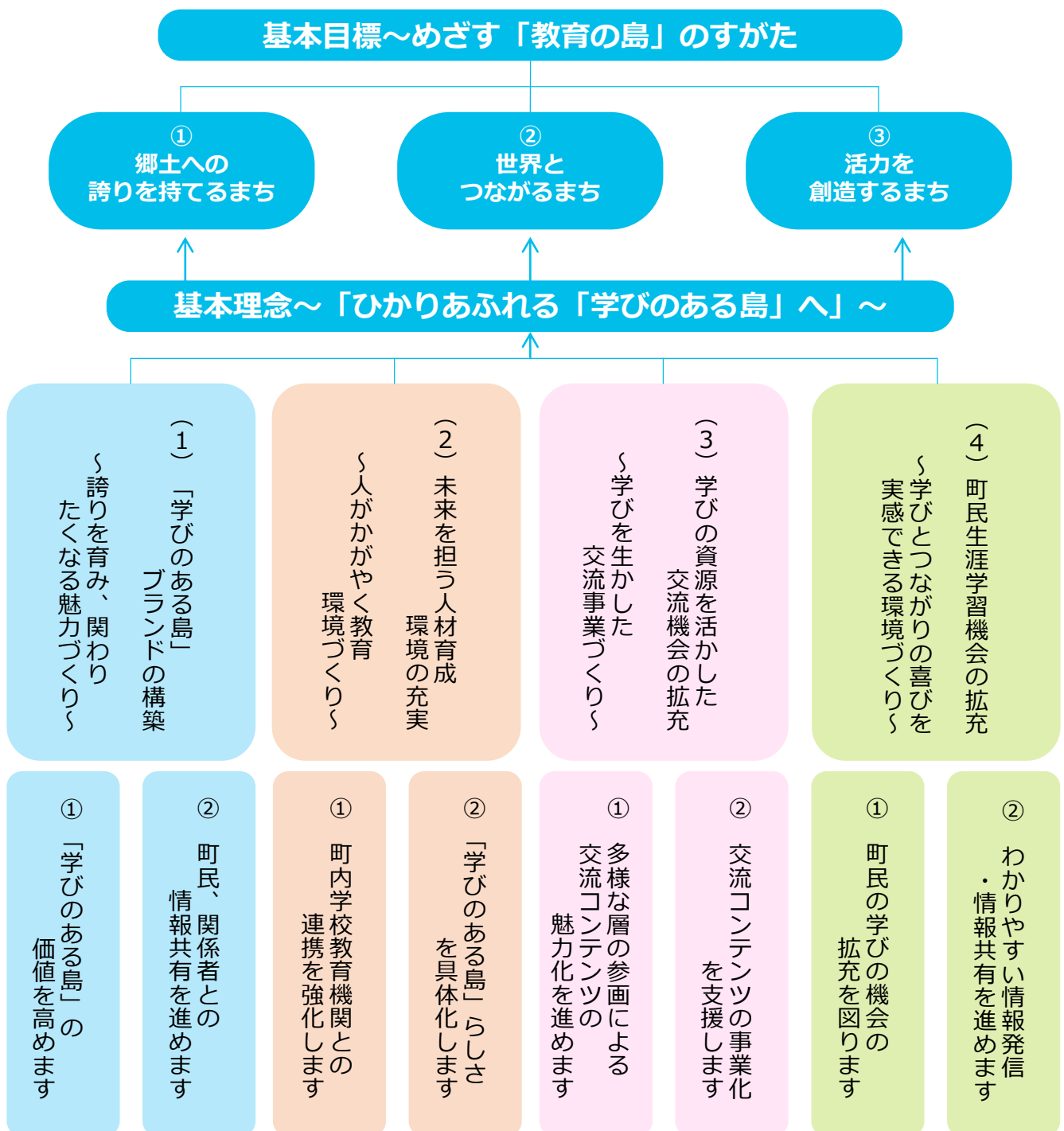
大崎上島町では、平成27年10月31日に策定した、大崎上島町まち・ひと・しごと総合戦略において、「多様な人材を育てる教育の島づくりを進める」ことを最重点政策として「教育の島」の推進を進めています。

平成30年3月には、町内の認定こども園から高等専門学校まで、世代や枠組みを越えた交流を、更には、海外を含めた町外の教育機関との積極的な交流連携を通じて、町民全体の活発な人材交流・育成、ひいては、だれもがいきいきと暮らせる地域の実現を目指すことを目的とした、「大崎上島町教育の島交流基本構想」を策定しました。

今年度策定した「教育の島交流基本構想実施計画」(以下、「実施計画」という。)は、施策の柱を具体化し、「大崎上島町教育の島交流基本構想」の基本理念を実現するために展開するべき事業内容及び実施計画を定めるものです。

2. 大崎上島町教育の島交流基本構想の体系

(本編：P.6より)



3. 施策体系別事業

(本編：P.7～P.10より)

施策の柱-1 「学びのある島」ブランドの構築～誇りを育み、関わりたくなる魅力づくり

(1) 「学びのある島」の価値の向上

成果目標	①文化財資料の保存・活用事業の実施 ②「教育の島」をPRしていくための効果的な広報媒体の作成 ③島の魅力発信につながる人材の発掘
------	--

(2) 町民、関係者との情報共有

成果目標	①「教育の島」にふさわしい町民の理解・協力による学習環境の実現 ②島内の学生による定期的な交流イベントの実施
------	---

施策の柱-2 未来を担う人材育成環境の充実～人がかがやく教育環境づくり

(1) 町内学校教育機関等との連携の強化

成果目標	①連絡会議等の実施による情報共有機会の拡大 ②地域と教育機関が相互に補い合う連携体制の構築 ③地域と教育機関が連携した島の観光・防災・環境等の調査研究人材の育成
------	--

(2) 「学びのある島」らしさの具体化

成果目標	①島内の伝統行事・文化等を継承できる人材等の育成 ②船造り等の島の産業の発展に資することのできる人材の育成 ③島の伝統行事・景観等のリスト化による島の魅力を伝える教材の作成
------	--

施策の柱-3 学びの資源を活かした交流機会の拡充～学びを生かした交流事業づくり

(1) 多様な層の参画による交流コンテンツの魅力化

成果目標	①移住者・来島者等の増加につなげる島の暮らし体験メニューの作成 ②地域と障害者の交流機会及び交流拠点の整備 ③外国人留学生受入れに向けたグローバル交流機会の拡充 ④産官学協働による移住・定住モデル事業の拡充
------	--

(2) 交流コンテンツの事業化の支援

成果目標	①地域と教育機関との交流及び体験学習に関する調整機能の構築 ②地域課題解決型学習の充実に資する研究及び視察の実施 ③島外教育機関等との交流を促進する制度の構築 ④利用されていない教育施設・公共施設・古民家等を活用した交流拠点の整備
------	--

施策の柱-4 町民生涯学習機会の拡充～学びとつながりの喜びを実感できる環境づくり

(1) 町民の学びの機会の充実

成果目標	①新たな高等教育機関の誘致 ②町民だれもが利用できる学習交流スペースの整備 ③島の環境・施設等を活かしたスポーツ環境の推進
------	---

(2) わかりやすい情報発信・情報共有

成果目標	①教育の島実施事業に関する多様なツールによる情報発信
------	----------------------------

4. 期間・評価・検証

(本編：P.2より)

本実施計画は、「大崎上島町教育の島交流基本構想」に基づき、各年度末において評価・検証を行います。

本実施計画の評価にあたっては、町政の最上位計画である「大崎上島町第2次長期総合計画」及び「大崎上島町まち・ひと・しごと総合戦略～瀬戸内海離島発グローバル戦略～」のうち、「教育の島」に関わる施策及び目標に基づき実施します。

5. 実施計画事業一覧

(本編：P.11～P.12より)

施策の柱-1 「学びのある島」ブランドの構築～誇りを育み、関わりたくなる魅力づくり

(1) 「学びのある島」の価値の向上

1	郷土史統一化事業	地域の篤志家により収集された郷土史の整理、近代史の作成。
2	「教育の島」ブランド発信事業	「教育の島」のブランドを確立し、島外へ発信していくため、広報素材の作成及び島外の学生との交流を推進。
3	島の「達人」紹介事業	広報紙上で島内の「達人」を紹介し、その達人から次の「達人」を紹介することで、魅力ある人材を発掘。

施策の柱-2 未来を担う人材育成環境の充実～人がかがやく教育環境づくり

(1) 町内学校教育機関等との連携の強化

4	地域福祉課題解決事業	福祉施設・地域が抱える福祉課題について、学生が解決策を検討するアイデアソン事業の実施。
5	調査研究人材育成事業	島の観光、防災、環境保護に係る調査研究人材の育成。

(2) 「学びのある島」らしさの具体化

6	伝統文化担い手育成事業	権伝馬を含め、島内の伝統行事に学生・生徒が参加し、文化を継承できる人材を育成。
7	匠の技継承事業	木造船を建造するためのヤードの構築と船造りを担う人材育成の場を整備。
8	島の魅力教材作成事業	島の伝統、行事、景観、動植物、食、施設、農業・漁業等のリスト・教材化。

施策の柱-3 学びの資源を活かした交流機会の拡充～学びを生かした交流事業づくり

(1) 多様な層の参画による交流コンテンツの魅力化

9	海・島ふるさとの家交流事業	島の暮らし体験メニューの作成。長期滞在、研究フィールドの提供等に対応できる交流拠点の整備。
10	島の通年体験ツアー実施事業	年間を通じて数回大崎上島町へ来島し、作付けから、収穫・調理まで一貫して体験できるメニューの整備。
11	地域と障害者の交流拠点運営事業	重度障害者と地域住民が交流できる『しまのふれあいカフェ』の運営。
12	「教育交流×就業体験」定住モデル事業	島外の親子を対象とした見学体験ツアーの実施による移住体験メニューの提供。

(2) 交流コンテンツの事業化の支援

13	課題解決・体験学習調整機構	高等学校・高専が行っているフィールドワーク等のとりまとめ及び調整。
14	先進地域スタディツアー実施事業	島内の高校生・高専生が、地域活性化に取り組む他地域の視察と学生との交流を実施。
15	短期交換留学プログラム	島内在住の高専生・高校生と、修学旅行受入校・都会の学校が協定を結び、短期交換留学を実施。
16	大学サテライトキャンパス誘致事業	サテライトキャンパスを全国に設置し、自治体コンソーシアムを形成しようとしている大学の自治体連携事業に積極的に参加。
17	地域イノベーション人材育成環境創生事業	高専、高校、集会所、古民家等を活用し、地域の若者が気軽に集まれる場を設定。
18	空き家リノベーション体験事業	島内の空き家を利用し、全国の大学生等によるリノベーションの実施。

施策の柱-4 町民生涯学習機会の拡充～学びとつながりの喜びを実感できる環境づくり

(1) 町民の学びの機会の充実

19	生涯スポーツ環境推進事業	スポーツ教室の実施。学生と地域住民のスポーツ交流会の開催。
20	公営教育交流スペース設置事業	町民だれもが利用できる公営の学習交流スペースの設置・運営。英会話やパソコン教室、学校間の交流会等の企画講座の実施。

(2) わかりやすい情報発信・情報共有

No.2 再掲	「教育の島」ブランド発信事業【再掲】	「教育の島」のブランドを確立し、島外へ発信していくため、広報素材の作成及び島外の学生との交流を推進。	
その他	21	遊休地・既存施設の活用検討事業	未活用の公共施設及び遊休地、荒廃農地のリスト化及び利用方法の検討。
	22	高等教育機関誘致検討事業	島内に新たな高等教育機関を誘致するための交渉、調査等の実施。
	23	共同キッチン整備事業	宿泊・研修施設を兼ね備えた共同キッチンの整備。